



学校だより 神橋

令和4年10月31日

よこはましりつかみほししょうがっこう
横浜市立神橋小学校

11月号

「^{まな} ^ば ^ば
学びの場」

こうちょう はんじ たまみ
校長 判治 珠美

コロナの影響で、保護者の皆様が校内にいらっしゃる機会がなかなかありませんね。学校によっては教室数に余裕があるところもありますが、本校は現在空き教室がない状況です。そんな中で子どもたちが教室以外でも活動したり、学んだり、安心して過ごしたりできる場を作るため、部屋の整備を職員作業などで少しずつ行っています。今、整備しているのは、「^{きょうぐしつ} 教具室」と「^{ちやれんじるーム} チャレンジルーム」です。

^{きょうぐしつ} 教具室は南棟(キッズのある校舎)の2階の一番奥にある教室です。算数や社会の教材や教具が置いてあります。以前置いていた予備の児童机や椅子を別の倉庫に移し、スペースを作りました。少人数の話し合いや作業に活用できるようになりました。

チャレンジルームは中央棟2階の、もと「パソコンルーム」です。チャレンジルームとは、^{しょうにんずう} 少人数や個別に学習を行う場です。子どもたち1人1台のタブレットが配付されたことで、パソコンルームのパソコンをあまり使わなくなったので、^{きょうしつない} 教室内を整理しました。レイアウトを変え、^{しょうにんずう} 少人数で学ぶ場や個別のスペースも増やすことができました。

横浜市では数年前から、^{こべつしえんがっきゅう} 個別支援学級とは別に、^{いっばんきゅう} 一般級に在籍する児童の、^こ 個に応じた^{まな} 学びのための場「^{とくべつしえんきょうしつ} 特別支援教室」を設置することを全校で進めています。本校では「^{ちやれんじるーム} チャレンジルーム」がそれにあたります(^{がっこうせつめいかいしりょう} R4学校説明会資料P3参照)。^{いっばんきゅう} 一般級のお子さんが必要に応じて、主に^{さんすう} 算数の^{しょうにんずう} 少人数での^{じゅぎょう} 授業を^{さんすうしょうにんずうしどうたんどうしゃ} 算数少人数指導担当者から受けています。^{しょうにんずう} 少人数なので、^{しつもん} 質問がしやすい、^{たんどうしゃ} 担当者の目が行き届きやすい、^め というよさがあり、^{さんか} 参加している子どもたちは^{まえむ} 前向きに^{がくしゅう} 学習に取り組んでいます。^{がいこく} 外国につながるお子さんの^{にほんごしどう} 日本語指導や^{がくしゅうしえん} 学習支援をする「^{こくさいきょうしつ} 国際教室」もここで行っています。また、^{きょうしつがい} 教室以外の場

でしばらく過ごして気持ちを落ち着かせたい、などの場合に^す 過ごす場としても活用しています。時には、^{ほけんしつ} 保健室や^{ふれあいルーム} ふれあいルーム、^{こうちょうしつ} 校長室がそのような場になることもあります。^{こうない} 校内で心地よく^す 過ごせる場がいろいろあると安心かと思えます。



チャレンジルーム